

令和3年3月期

決算概況

のと共栄信用金庫

令和3年3月期 決算の概況

1. 損益の概要

●単体決算は4期ぶりの増益となりました。

利回りの低下が継続するなかで資金の効率的運用に努めた結果、資金運用収益は11期ぶりに増加に転じたものの、役務取引等収益や有価証券売却益等の減少により、経常収益は2期ぶりに減少し、41億4,700万円となりました。

一方で、資金調達費用の減少に加え、経費の削減に努めた結果、本業の利益を示すコア業務純益は2期連続の増益に、経常利益、最終利益は共に4期ぶりの増益となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により信用リスクの増加が懸念されることから、過去の大規模ショック時の経験値を踏まえ、一般貸倒引当金を追加的に計上しました。

<単位：百万円>

	令和3年3月期	令和2年3月期	増減※	増減率※
経常収益	4,147	4,235	▲87	▲2.07%
経常費用	3,912	4,035	△122	△3.03%
コア業務純益	588	424	164	38.71%
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	491	346	145	42.06%
経費	2,964	3,058	△93	△3.04%
人件費	1,661	1,701	△40	△2.35%
物件費	1,239	1,293	△54	△4.23%
資金利益	3,428	3,372	55	1.64%
役務取引等利益	102	109	▲6	▲5.90%
有価証券関係損益	42	38	3	9.96%
債券関係損益	34	169	▲134	▲79.37%
株式等関係損益	7	▲130	138	-%
不良債権処理費用※	372	298	74	24.78%
一般貸倒引当金	122	△4	127	-%
個別貸倒引当金	218	94	123	131.19%
貸出金償却	8	217	△208	△95.95%
経常利益	234	200	34	17.38%
当期純利益	138	95	42	43.92%

※不良債権処理費用は、個別貸倒引当金や貸出金償却等の個別債権に対する処理費用に、一般貸倒引当金、偶発損失引当金および償却債権取立益を加減しています。

※増減(率)欄のマイナス符号は、当該項目の減少が業績の良化要因となる場合は「△」を、悪化要因となる場合は「▲」を付しています。

2. 預貸金等の概要

- 預金残高は、コロナ禍対応資金の滞留等もあり、事業性資金を中心に前期末比 152 億 7,500 万円 (4.9%) 増加し、3,254 億 2,700 万円となりました。

低金利環境の長期化を反映し、普通預金等へのシフトが進み、要払性預金が 214 億 6,500 万円 (16.9%) 増加したのに対し、定期性預金は 61 億 8,900 万円 (3.3%) 減少しました。また、個人預金および法人預金は共に増加したのに対し、公金預金は減少しました。

<単位：百万円>

	令和3年3月期	令和2年3月期	増減	増減率
預金残高	325,427	310,151	15,275	4.92%
定期性	176,967	183,157	▲6,189	▲3.37%
要払性	148,459	126,994	21,465	16.90%
個人	229,288	222,697	6,591	2.95%
個人事業者	23,945	21,434	2,511	11.71%
法人	57,309	47,494	9,815	20.66%
公金	14,883	18,525	▲3,642	▲19.65%

- 貸出金残高は、コロナ禍における資金繰り支援の強化により、前期末比 54 億 700 万円 (3.0%) 増加し、1,819 億 5,900 万円となりました。また、預貸率は 1.01 ポイント低下し、55.91%となりました。

資金の用途別では、事業性融資は増加したものの、住宅ローンを中心とした個人ローンおよび地公体向け融資は減少しました。

<単位：百万円>

	令和3年3月期	令和2年3月期	増減	増減率
貸出金残高	181,959	176,551	5,407	3.06%
個人ローン	34,383	35,887	▲1,504	▲4.19%
事業性資金	115,554	105,557	9,997	9.47%
地公体向け	32,021	35,106	▲3,085	▲8.78%
預貸率	55.91%	56.92%	▲1.01ポイント	▲1.77%
事業性先数	4,101	4,148	▲47	▲1.13%

- 預かり資産残高は、金融市場の回復等により、投資信託を中心に前期末比 12 億 2,500 万円 (5.5%) 増加し、234 億 700 万円となりました。

<単位：百万円>

	令和3年3月期	令和2年3月期	増減	増減率
預かり資産残高	23,407	22,182	1,225	5.52%
投資信託	6,124	4,790	1,334	27.84%
保険	14,221	14,520	▲299	▲2.05%
国債	3,062	2,872	190	6.61%

3. 不良債権額（金融再生法開示債権）の概要

●金融再生法上の不良債権額は、前期末比2億9,700万円（6.1%）増加し、51億3,100万円に、不良債権比率も0.09ポイント上昇し、2.75%となりました。

また、保全率は前期末比2.02ポイント上昇し、79.80%となりました。

<単位：百万円>

	令和3年3月期	令和2年3月期	増減	増減率
不良債権額	5,131	4,833	297	6.15%
総与信残高	186,771	181,635	5,136	2.82%
不良債権比率	2.75%	2.66%	0.09ポイント	3.38%
保全額	4,094	3,759	334	8.90%
貸倒引当金	1,601	895	706	78.92%
担保・保証	2,493	2,864	▲371	▲12.96%
保全率	79.80%	77.78%	2.02ポイント	2.59%

4. 有価証券の評価損益の概要

●有価証券の評価損益は、金融市場の回復等により、前期末比7億3,600万円増加し、6億3,200万円の評価益となりました。

<単位：百万円>

	令和3年3月期	令和2年3月期	増減	増減率
評価損益	632	▲103	736	-%
評価益	1,104	873	231	26.49%
評価損	471	976	△505	△51.69%

5. 自己資本比率の概要

●積立金等の自己資本の増加に加え、リスクアセットが前期末比41億800万円（2.7%）減少したことにより、自己資本比率は前期末比0.53ポイント上昇し、13.34%となりました。

（国内基準）

<単位：百万円>

	令和3年3月期	令和2年3月期	増減	増減率
自己資本額	19,405	19,164	241	1.26%
普通出資等	19,150	19,044	105	0.55%
リスクアセット※	145,429	149,538	△4,108	△2.74%
自己資本比率	13.34%	12.81%	0.53ポイント	4.13%
普通出資等比率	13.16%	12.73%	0.43ポイント	3.37%

※リスクアセットとは、貸出金等の資産をリスクの大きさに応じて再評価した資産金額です。

6. 出資配当率

●昨年度と同率の2.0%としました。

	令和3年3月期	令和2年3月期	増減
出資配当率	2.0%	2.0%	0.0%

7. 令和4年3月期業績予測

●資金利益の減少により2期連続の経常収益は減収となるものの、経費削減等により2期連続の経常利益、当期純利益の増益を見込んでおります。

<単位：百万円>

	令和4年3月期	令和3年3月期	増減	増減率
経常収益	3,956	4,147	▲191	▲4.6%
コア業務純益	589	588	0	0.1%
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く)	516	491	24	5.0%
経常利益	289	234	54	23.1%
当期純利益	180	138	42	30.7%

以上